

平成 30 年度 第 1 回高知市食育推進会議 議事録

日時：平成 30 年 5 月 2 日（水）18：30～20：30

場所：総合あんしんセンター 3 階 大会議室

1 開会（司会：健康増進課 課長補佐）

2 健康福祉部 部長あいさつ

3 自己紹介

委員自己紹介

市職員紹介

4 会長・副会長の選出

会 長：高知県栄養士会会長 森田陽子 委員

副会長：高知学園短期大学 生活科学学科 教授 渡邊慶子 委員

5 議事

①第 2 次高知市食育推進計画における食育の取組状況について

第 2 次高知市食育推進計画書，**資料 1**を用いて事務局が説明

※質問・意見なし

②国の第 3 次食育推進基本計画について

資料 2を用いて事務局が説明

※質問・意見なし

③高知市食育に関するアンケート調査について

資料 3，**資料 4**，様式 1，様式 2，様式 3 を用いて事務局が説明

【③に関する主な意見の要約】

〈委員〉

「食育に関心がありますか」ということですが、「食育」って何か、どういうものなのかという説明等があればよいのでは。関係者はイメージできると思うのですが、いきなりこの質問が来た時にどういう風に答えたらいいのかなという風に思ってしまうのかなというのが 1 点目。

あと 2 点ありますが、小中学生の質問で、問 3「あなたは、ふだん朝ごはんを食べていますか」ということですが、どこまでの範囲を「朝ごはん」と捉えて答えたらいいのかということです。子供たちが答える場合に、ゼリーやヨーグルトを食べてきたら、それを朝ごはんとしていいのか、それともきちんとはんやパン、野菜等を食べたら朝ごはんと呼べるのかというのがあって、アンケートを答えさせる時に、困ることがあります。

問 10「あなたは、地域の人や家族と一緒に～」というのがありますが、皿鉢料理やタタキなどは学校行事の食育の中で行っていますが、それも含めて「している」という風に答えていいのかどうかということです。家族の中でとか地域の中でしたことを限定して答えるのかどうかを教えていただきたい。

〈会長〉

いきなり「食育」というのはわかりにくいのではないかと、「食育」というものの説明があればということですが、それについて委員さんからのご意見があればお願いします。

〈健康増進課〉

国の調査の方も確認し、入れる方向で検討していきたいと思います。説明を入れるとしたら、概要版表紙の左下に、オレンジで「食育ってなあに？」とあるような内容を、説明の文章として検討いたします。

〈会長〉

その次のご質問でありました、小中学生のアンケート問3「朝ごはん」というところで、ゼリーやヨーグルトを食べてきたということ朝ごはんを捉えるのかどうかという、範疇のところのご質問でしたが、現場で先生方が実際に子供さんにアンケートを取る時に、子供たちから聞かれた時にどう答えたらよいかということで、具体のご質問だと思います。これについてはいかがでしょうか。

〈教育環境支援課〉

まずは、何かを食べてきているのか、それとも食べていないのかというところがポイントになってくると思います。内容は後からついてくるとして、まずはお家で日常的に朝食というものが出されているかどうか、それがヨーグルトという形であっても、そこのお家でそれが朝ごはんというような形で出されているのであれば「〇まる」がつくのかという風に考えます。アンケートの集計結果が出て、食べられていない現状（ここでは内容は出てこないが）を把握した後で、栄養のバランス等の指導につながっていけばいいかと思っています。いったんはそこに食べるものがあるかないかというようなところで、子供たちには自分の中で、考えていただく形になるのではないかと思っておりますが、いかがでしょうか。

〈会長〉

まずは食べてきたかどうかという、食べるものがあるかというところの回答がありましたが、それについて委員の皆様方、ご意見がありましたらお願いします。

今、回答いただいたような捉え方で調査をしていくということによろしいでしょうか。

〈委員〉

小中学生のアンケートはチェックだけのアンケートになっていますが、他のアンケートでは、ご意見があればお書きくださいというのがあります。集計をするのが大変かなというところでレ点をつけるだけしかないと思いますが、子供たちの生の声が聞こえるところがあればいいかなと思いましたが、どうでしょう。

〈会長〉

小中学生はスキャネットシートを使うやり方で、スペースの問題もあるんじゃないかと少し心配しつつも、生の声を拾いたいというご意見がありましたけれども、いかがでしょうか。

〈健康増進課〉

会長がおっしゃったとおり、スペースの問題等ございますが、検討してみたいと思います。

〈会長〉

これは、チェックが入ったところを拾うというだけで、文字を書いたらそれは拾えないということでしょうか。

〈委員〉

実際ここに書かれていることだけしか集計ができないと思われませんが、本当に子供たちがどんなものを食べているかというような、生の声が聞こえるんじゃないかなと思うんですが、どうでしょうか。

〈会長〉

子供たちが何を食べているか、生の声が拾えたらいいなということです。ただ、集計とか、多様な答えが出てくるということで、それを集計して計画に生かしていくというところの難しさもあるかと思えます。

<健康増進課>

時間に制限があり、タイトなスケジュールの中でアンケートを集計していかなくてはいけないというところをございまして、本当は生の声が聞けたら、もう少し調査の期間等もございまして、そういうことも必要なのかなと思いますが、今回調査して、夏の末くらいのうちに集計を出して、秋には素案を作らないといけないというのが現状です。小学5年生・中学2年生、市立学校全員に聞くため、かなりの数になりますので、こういうようなシートを使わせていただいての集計という形をとらせていただいております。ただ、子供たちの生の声というのは本当に大事な部分であるかと思っておりますので、何らかの形で、必要に応じて学校等と相談しつつ、そこも把握ができれば、できるだけ反映できるような形で検討はしていきたいと思いますが、このアンケートに関しましては、このような形にさせていただきたいと思っております。

<会長>

あともう1つのご質問、問10ですが、学校で皿鉢給食とか学校行事において食育をやっている現状がある中で、この問いは「地域の人や家族と」という風に限定となるのかというご質問がありましたが、これについてはいかがでしょうか。

<健康増進課>

学校での取組ももちろん大事なことだと思いますが、そういうのを実際体験した子供たちが学習したことを地域や外でも体験しているのかということ把握することになると思います。学校ではそういう体験をすることで子供たちに伝統食とか食文化を教えるということはもちろんですが、学校が全部取り組み始めたら100%になるので、そうではなくて、地域の方や家族と一緒に、普通の日常にそういう伝統食であったり地域の食ということを位置づけていってもらいたいという、日常の中に入って行ってもらうということがどれくらいできているのかを問うことになります。これが皿鉢料理だよということ子供たちにわかってもらうためには学校でという部分で、それを日常の中でも、学校でやったことが家でこういう風にやっているんだという体験につながっていけばいいかなという風に捉えています。

<委員>

それででしたら、「学校以外で」という言葉を書きいただければ、例えば、8・9・10番についてはわかりやすいかなと思いますので、お願いします。

<教育環境支援課>

問8は「家で食べることがありますか」と書いているので、こういう部分を問8・9・10について整理して、わかるような表記の仕方に検討させていただきたいと思っております。

<会長>

それでよろしいでしょうか。問8・9も含めて、表現の仕方をご検討いただけるということです。その他に何か気のついたこと、ご質問等ないでしょうか。

<委員>

当日配布資料の中の26番、「適正な体重増加をめざす」というところですが、保護者の方が「適正な体重増加」ということが果たしてわかるかなというところがありまして、たしか妊娠中の体重増加の目安ですとか計算の仕方というのがあると思っておりますので、そういったものを下のところに追加で書くことはどうでしょうか。

<会長>

幼児用アンケートの妊娠中の質問のところ、事務局から「適正な体重増加をめざす」に変えてはどうかと、皆様方のご意見を聞きたいというのがありましたが、今、委員から「適正な」ということが、またわかりにくいのではというご意見ですが、それについて説明書きがあればということですが。

<母子保健課>

妊婦さんの妊娠中の体重増加は、元の体重から大体何 kg までが適正な体重増加という標準がありますので、空いたスペースに記載することは可能かと思えます。わかりやすい形にするよう検討したいと思います。

<委員>

3歳児健診対象用アンケートですが、記入した人の年齢を書くところで、祖父母の年齢まで書いてありますが、これはつまり、P2「ここからは、保護者の方ご自身のことについてお答えください」とあり、祖父母が保護者という場合のことですよね。そうすると、70歳以上の人の考えがここに入ってくるということになりますか。そうすると、成人のところでは、抽出の仕方でも最初おっしゃったと思うのですが、こちらの方は60歳代までで終わるわけですね。そうすると高齢者の意見、70歳代が入るとすれば最初の項目ということになりますか。

食育といった時に、60歳代しかないですが、70歳以上の皆さん方の意見が非常に大きいんじゃないかと思うのですが。

<会長>

70歳以上の食育に関するデータもということですね。

<健康増進課>

今回は高齢の部分が入っていませんが、昨年度、高齢者保健福祉計画というものを策定しております、その中に高齢期の食のこの内容を盛り込んでおります。そのところで整合性をとりながら、この計画の中には反映していこうかなと思っておりまして、それ以外の部分が全然把握できておらず60歳代までの方を把握するという形でのアンケートに今回はさせていただいております。3歳児健診の方は、一応70歳以上という枠まで書いておりますが、ほとんど95%以上が母親の記載でありまして、昨年健康づくりアンケートを同じような形で取りましたが、95,96%くらいが母親の回答でした。祖父母が1名か2名程度で、ほとんどご意見を反映できるような状況ではございませんでした。庁内の食育推進委員の中には高齢者支援課の職員も入っておりますので、そちらの高齢者保健福祉計画に反映させている部分、あと今現在取り組んでいることの中からの現状把握を踏まえて、高齢の部分は盛り込ませていただこうかと思っています。

<会長>

アンケートは60歳代までですが、高齢者の計画の方で取っている部分を食育計画の高齢者の部分に盛り込んでいけたらということで、ご回答いただきましたがよろしいでしょうか。

幼児の問26の「適正な体重増加をめざす」というのはご説明がありましたけど、もう1つ皆様にご意見をいただきたいというのがありました。「食品表示を確認するなど、食の安全性に関心をもつ」という項目を削除することについてご意見を聞きたいということが、ご説明の中であったと思います。これについて、何かご意見があればお願いしたいと思えます。事務局案で説明があったのは、食品表示＝食の安全にはつながりにくいというところで、今回これを削除するというご説明がありました。削除した形で調査をしていくということによろしいでしょうか。

※ご意見なし

<会長>

委員さんの方からも承認がありましたので、事務局の変更案のとおり食品表示のところは削除して、適正な体重については先ほどあったように、説明を加えていくという形で問26はいきたいと思えます。それ以外に、ご質問とかありましたらお願いします。

<委員>

食品の安全性に関する食中毒の知識のところで、保健所の方もいらしているので伺いたいのですが、「食中毒予防の知識について、知っている項目をすべて選んでください」ということで1～7という項目がありますが、この問いではゆるいのではないかというようなお話が食品安全の所管課からなかったのでしょうか。これを読んで、ある意味ここで勉強してもらい、知ってもらいようなどころがあるとするならば、もっと突っ込んだ内容や文言を入れた方がいいのではないのでしょうか。かなりオブラートに包んだような質問ですけど、いかがでしょうか。

<会長>

これについて、いかがでしょうか。

一覧表でみると、これは高知市2次計画に盛り込まれている内容ということですかね。

<生活食品課>

問18の質問の内容については、第2次計画の評価項目になっており、前回の調査内容のままで変更しておりません。委員さんのおっしゃられているとおりでもう少し柔軟な表現や、本当に理解をしているのかという本質を問うような問いの仕方というのもあると思いますが、評価項目となっているため変更せずに、今回はこういった形になっております。

<委員>

先ほど、「食品表示を確認するなど、食の安全性に関心をもつ」という項目を除いた方がいいというご意見が出ましたが、表示って様々ありまして、すぐ食の安全性に結びつくものもありますけど、結びつくものもないとあるんじゃないかと思って。日ごろから食品表示をよく見る、特にアレルギーやアトピー、そういう命に関わるものは特に見るようにしておかないと、赤ちゃんの時から、大変です。この項目って取っていいのかなとずっと実は考えていたんですけど。書き方とかをどういう風にすればいいかというのはあるんですが、削除した方がいいのか、似たようなものがどこか別に質問があって、もうすでに質問済みということであれば何ら問題ないかなと思うんですけど。

<会長>

食品表示について、削除をしたんですけど、そのまま削除しちゃっていいんだろかというご質問ですが。食品表示の中でも特にお子さんに関する部分の必要な部分を入れてはどうか、表現の仕方がどうかというご質問がありましたけれども。

<健康増進課>

事務局の方でも、本当は残せれるものなら残したらいいかと思うのですが、食品表示をもって何を確かしてもらいたいというところがないと、ただ確認するのだったら、産地だけを確認しているのもこれに入ります。食品表示はすごく幅広すぎるので、この表現のままだと、本当に必要な部分がとれるのかなというので、その他(自由記載)にしてしまった方がいいかということだったので、もし、いい表現がございましたら逆に教えていただきたいというか、ご提案いただいたらいいかなと思うんですが。

<会長>

何かいい表現があれば教えてほしいという風に事務局からありました。

回答としては、複数のものを同時に書くと、どちらのことについて回答したかわからないというがあるので、ひとつに限定した方がいいかとは思いますが。実は私も、食品表示を確認することがイコール食の安全性につながるのかという疑問を思ったので、事務局にお伝えしたんですけど。

今、委員が言われたアレルギーという部分であれば、「アレルギー表示などの食品表示を確認する」という書き方もあるかと思えます。妊婦さんですので、体重増加ということを考えた時には、エネルギー等栄養成分表示を確認するといったことも出てきます。食の安全性に関心をもつだけだと、何か漠然としたようなところがあるかなと。妊婦さんにとって大事な答えというのを1つか2つか、具体的に入れ込むという方法もあろうかと思えます。

<委員>

「食品表示を確認するなど、食の安全性に関心をもつ」という項目を、別に設けて、問 21「食中毒予防の知識について、知っている項目をすべて選んでください」のような内容で、新たに作ればいいのじゃないかと思ったのですがどうでしょう。

<会長>

それは、問 26 ではなく、別に問 27 としてということでしょうか。
新たに問いを増やして、具体的に聞いたかどうかというご意見が出ましたが。
このアンケート（幼児対象用）は今日中に決めないといけないというアンケートですよ。

<副会長>

食品表示＝食の安全性という風に考えるからちょっと難しいのであって、食の安全性を取って、「食品表示を確認していますか」という問いが、するっといくんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

<委員>

それこそ、ここすごいさっぱりと、例えば「食品表示をよく見る（見る方だ、確認する）」、「食の安全性に関心をもつ」と2つに分けるのはどうですか。ものすごいアバウトですかね。

<会長>

今、委員の方からいくつかご意見が出ましたけれども、流れは、「食品表示を確認する」あるいは「食品表示をよく見る」ということに絞ってはどうかというご意見が出ております。

<健康増進課>

質問が2つ入っているという部分もありますので、「食品表示を確認する」という項目と「食の安全性に関心をもつ」という項目も入れるかどうか検討しまして、急いでおりますので、会長・副会長に最終確認はしていただこうと思いますが、その方向で検討させてください。

<会長>

事務局から、急いで検討して、これについては会長・副会長に相談してというお話がありましたので、私たち責任を持って、一緒に考えていきたいと思えます。

<会長>

それでは、その他にお気づきの点、ありましたら。だんだん、予定の時間が近づいてきましたけれども。ご発言されていない方で、何か気になるなということがありましたらお願いいたします。

それでは、いくつかご意見もいただきましたので、アンケートについてはこのあたりで終わりたいと思います。なお、事務局が先ほど言われていましたように、成人と小中学生については5月11日までに気づきの点があったら事務局の方へご連絡くださいということでもよろしく願いいたします。

それでは、私の方はこれで終了します。

6 事務連絡

今後のスケジュールについて

資料5を用いて事務局が説明

7 閉会